



かぞ 市議会だより

発行日／令和2年12月1日

発行／加須市議会

〒347-8501 加須市三俣二丁目1番地1

TEL 0480 (62) 1111(代)

<https://www.city.kazo.lg.jp/>

◎第46号◎



大規模改修工事が終了した田ヶ谷小学校



次

第3回定例会のあらまし…… P 2～3
 委員会の審議内容…… P 6～7
 議案に対する討論…… P 9
 議会活動等…… P 15

議案に対する質疑…… P 4～5
 議案等の審議結果…… P 8～9
 市政に対する一般質問…… P 10～15
 傍聴者の皆様へ…… P 16

市議会に関する情報は、ホームページをご覧ください。

◎本会議のインターネット中継を実施しています。

加須市 議会

検索



第3回 定例会の あらまし

令和2年第3回定例会は、9月1日から10月1日までの31日間の会期で開催しました。

今期定例会におきましては、令和元年度加須市一般会計決算をはじめとした市長提出議案30件、議員提出議案2件及び委員会提出議案1件を審査し、5件を承認、16件を原案可決、2件を原案可決及び認定、10件を認定としました。

このほか、提出された1件の請願を採択としました。

なお、審議結果につきましては、8ページ及び9ページをご覧ください。

令和元年度一般会計決算等認定

令和元年度 加須市一般会計 決算額	歳入	446億3,048万円 (前年度比5.0%増)
	歳出	399億3,769万円 (前年度比4.2%増)
	差引	46億9,279万円

主な歳入	区分	歳入額	構成比
	市税	158億6,926万円 (140,564円)	35.5%
	地方交付税	59億1,044万円 (52,352円)	13.2%
	国庫支出金	56億6,277万円 (50,159円)	12.7%
	繰越金	41億7,468万円 (36,978円)	9.3%
	市債	40億340万円 (35,461円)	9.0%
	県支出金	26億1,610万円 (23,172円)	5.8%
	地方消費税交付金	19億3,771万円 (17,164円)	4.3%

一般会計の使いみち (歳出)	民生費	教育費	総務費
	 153億7,121万円 (136,152円)	 63億8,893万円 (56,591円)	 44億7,666万円 (39,653円)
	衛生費	公債費	土木費
	 44億5,441万円 (39,456円)	 32億6,815万円 (28,948円)	 23億7,818万円 (21,065円)
	消防費	農林水産業費	その他 (議会費・商工費・労働費)
	 16億3,392万円 (14,473円)	 13億6,248万円 (12,068円)	 6億375万円 (5,348円)

() 内の数字は、市民1人当たりの金額です。R.2.3.31現在 住民基本台帳人口112,897人。

※各数値は単位未満四捨五入のため、合計額などが整合しない場合があります。

令和元年度特別会計・企業会計決算額一覧表

会 計 名		歳出決算額	会 計 名		歳出決算額	
住宅新築資金等貸付事業		34万円	国民健康保険事業		120億8,712万円	
国民健康保険直営診療所		8,307万円	後期高齢者医療		11億1,911万円	
介護保険事業		89億6,893万円	農業集落排水事業		6億5,548万円	
野中土地区画整理事業		2億4,827万円	栗橋駅西（大利根地区） 土地区画整理事業		2,161万円	
河野博士育英事業		785万円				
水道事業	収益的収支	収入	下水道事業	収益的収支	収入	17億2,623万円
		支出			支出	16億4,566万円
	資本的収支	収入		資本的収支	収入	7億1,146万円
		支出			支出	13億2,216万円

※単位未満は、四捨五入です。

※企業会計は、経営活動に伴い発生する収益的収支と、将来の経営活動のために行う借り入れや施設建設などの資本的収支に区分されます。また、不足額については、内部留保資金（減価償却費など実際にお金の支出がない費用計上によって生じた資金や利益剰余金）で補っています。

主な議案の一部を紹介します。

専決処分の承認を求めることについて(令和2年度一般会計補正予算(第6号))



事業名	予算額	主な内容
妊婦保健事業（パパママ学級）	227千円	新型コロナ感染予防のため、オンラインによるパパママ学級を導入
新型コロナウイルス感染症医療機関支援事業	23,015千円	新型コロナ感染予防のため、PCR検査や新型コロナウイルス感染症患者の入院を受け入れている医療機関を支援
食べきりかぞ・マイバッグ等推進事業	17,248千円	新型コロナ感染症の影響によるステイホーム（外出自粛）に伴う買い物負担の増加に対する生活支援とレジ袋削減のため、市オリジナルのマイバッグを全世帯に配布
水道事業会計繰出事業	203,200千円	既に実施している水道の基本料金4カ月免除をさらに8カ月（9月請求分から4月請求分まで）延長し、水道基本料金を1年間無料化
「新しい生活様式」取組事業所応援事業	102,588千円	「新しい生活様式」の一環として新型コロナウイルス感染症対策に取り組む市内事業者に対して、最大10万円を補助
ちよこっとおたすけ絆サポート券全世帯配布事業	288,362千円	市内経済の活性化及び市民の家計支援のため、全世帯に「ちよこっとおたすけ絆サポート券」5,000円分を配布

◆財産の取得について
 学校ICT教育活用事業に係る学校用端末機器一式を取得
 ・取得金額
 7億9342万7250円
 ・契約の相手方
 (株)大塚商会L A事業部
 北関東L A販売課

事件案件

名称	定員
加須市田ヶ谷放課後児童健全育成室	45人
加須市鴻荃放課後児童健全育成室	50人
加須市高柳放課後児童健全育成室	70人
加須市北川辺西放課後児童健全育成室	70人

◆加須市放課後児童健全育成室条例の一部を改正する条例
 左記の4施設を市の施設として、本条例に位置付ける改正です。

条例

私たちが慎重に チェック

可決された 主な議案と 疑点

専決処分の承認を求め
ることについて

《令和2年度一般会計補正
予算(第5号)》

・済生会病院誘致事業

議員 済生会加須病院用

地内の調整池の上に計画している駐車場予定地に、地面の強さを示す路床支持力不足が発覚しましたが、これは想定内のことであったのでしょうか。また、専決処分の根拠となる緊急性についてお伺いします。

市長 (仮称) 埼玉県済

生会加須医療センターの建設及び運営等に関する基本協定書により、新病院の建設用地に係る調整池及び擁壁の整備を含む造成工事につきましては、市が行うこととなっております。路床支持力不足につきましては、当初想定しておらず、どういう対策をとるのか、その内容の規模を正確に把握するために、

改良する範囲や使用する材料の選別などについて急ぎ検討いたしました。

また、病院本体工事の工程上、この時期に実施しないと、以後の工期に影響が出てしまうことを踏まえ、土壌改良工事の内容を決定し専決処分を行ったところと



埼玉県済生会加須病院建設工事現場の様子 (10月7日現在)

※専決処分：議会が議決すべき事項を、時間的に議会の召集を待てない緊急な場合などに、市長が代わって意思決定することを行います。専決処分の後には、議会に報告し承認を求める議案の提出が必要です。

《令和2年度一般会計補正
予算(第6号)》

・誕生記念祝事業

議員 対象を600人と
積算した根拠及び600人以上誕生した場合の対応についてお伺いします。

こども局長

この事業は令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた新生児に対して、一人当たり10万円の特別誕生祝い金を支給するものです。積算は、過去3年間の出生状況及び令和2年4月から7月までの平均出生数が約48人であることを考慮しました。

また、対象となる全ての新生児に対して支給することとしていることから、不足が生じた場合には、補正予算等により速やかに対応してまいります。



・予防接種事業

議員 新型コロナウイルス

感染症と同時感染によるリスクを軽減するため、インフルエンザ予防接種を多くの子どもに受けていただきたいと思います。対象拡大の周知方法及び対象医療機関についてお伺いします。

健康医療部長

令和2年度に限り、インフルエンザ予防接種の対象者と助成金額を拡大するもので、対象は生後6カ月から3年生までの市民とし、助成金額を3000円、自己負担額を1000円とするものです。周知方法といたしましては、チラシの個別配布やポスターの掲示、市報や市のホームページ、SNS等で積極的に周知してまいります。

また、対象医療機関につきましては、市内医療機関とし、中学3年生のみ古河市の医療機関も対象としております。

・新型コロナウイルス感染症予防対策事業

議員 PCR検査の際に市が負担する内容についてお伺いします。

健康医療部長 同じ部活動やスポーツ少年団に所属している、または、同じ塾に通っている児童・生徒は、保健所のPCR検査対象となる可能性が高いです。仮に、保健所の検査対象とならない場合において、保健所と調整の上、感染した児童・生徒等の行動履歴などから総合的に勘案し、市が検査対象とする必要があると判断した時、市の負担で検査を実施するものです。

また、発熱外来等において、医師の判断により、PCR検査、または抗原検査と併せてCT等の検査を実施した場合、CT等の検査費用に対し、5000円を上限として助成する制度を設けたものです。

令和2年度一般会計補正予算(第7号)

・(仮称)北川辺コミュニティセンター整備事業

議員 北川辺公民館の機能を北川辺中学校の余裕教室へ移転することで、制限されること及び活性化されることについてお伺いします。

北川辺総合支所長 中学校生徒の学習環境や行事等への配慮、中学校との動線などセキュリティ面、防音対策などに十分配慮してまいります。

令和元年度加須都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議員 収入済額が4億4439万2774円、不用額が1億8004万9770円で、その割合が約40%と高い理由についてお伺いします。

一方、様々な地域活動団体の活動と中学校の教育との連携などによる地域密着型教育や、様々なコミュニティ活動においても活性化が期待されます。



財産の取得について

・学校ICT教育に関する経費総額について

議員 学校ICT機器を活用した学習を行うため公立小中学校の児童生徒一人一人に学習用パソコンを整備するものですが、その経費についてお伺いします。

教育長 学校ICT教育活用事業に係る小中学校情報通信ネットワーク環境整備費及び端末整備並びに運用業務の経費総額は11億6051万3750円です。これに加えインターネット通信回線の初期工事費用として70万円、月額通信費用として30万円程度の経費を見込んでおります。



第3回定例会 会期日程

- 9・1(火) 本会議
- 9・8(火) 本会議
- (議案質疑)
- 9・9(水) 本会議
- (議案質疑)
- 9・10(木) 本会議
- (一般質問)
- 9・11(金) 本会議
- (一般質問)
- 9・15(火) 常任委員会
- 9・17(木) 決算特別委員会
- 9・18(金) 決算特別委員会
- 9・23(水) 決算特別委員会
- 9・24(木) 決算特別委員会
- 9・28(月) 決算特別委員会
- 10・1(木) 本会議



委員会の審議内容

各常任委員会は、9月15日、付託された特別会計決算等の13案件（総務常任委員会2議案、民生教育常任委員会5議案、産業建設常任委員会5議案及び1請願）について審査を行いました。

また、決算特別委員会（各会派から選出された委員で構成）は、9月17日、18日、23日、24日及び28日の5日間で一般会計決算認定について慎重に審査を行いました。

なお、委員会の主な審査内容は次のとおりです。

総務常任委員会

1議案 可決
1議案 認定

委員長 新井好一
副委員長 裕 小坂 雄希
委員 山下裕美子 池田和子 及川清心 大内正和 中島裕真 小勝政雄 竹内雄一 川島省

《一般会計補正予算(第7号)》

・(仮称)北川辺コミュニティセンター整備事業

問 地質調査費用の内容は。

答 当施設を増築する可能性もあるため、敷地の地質を調査するものです。

・加須クリーンセンターごみ処理事業及び大利根クリーンセンターごみ処理事業

問 各施設の修繕期間は。

答 加須クリーンセンターは令和3年3月15日まで、大利根クリーンセンターは年内を目安としています。

・畜産振興事業

問 北埼玉肉センターの建物を解体する理由は。

答 北埼玉肉センターを運営していた北埼玉肉事業協同組合が業務継続を断念し、令和2年3月に解散したことなどによるものです。

・溢水対策整備事業

問 堰の改修の内容と効果は。

答 堰板の改修と堰の開閉を電動化するものであり、豪雨時における対応が迅速になります。

・スポーツ施設管理運営事業

問 騎西総合体育館における雨水再利用給水ポンプの工事内容は。

答 老朽化により給水ポンプユニットを交換するものです。



《住宅新築資金等貸付事業決算認定》

問 いつまでも特別会計という形にせず、一般会計に戻すべきでは。

答 今後とも検討していきます。

民生教育常任委員会

5議案 認定

委員長 齋藤理史
副委員長 森本寿子
委員 吉田健一 野中芳子 小林利一 佐伯由恵 柿沼秀雄 池田年美 原田 悟

《国民健康保険事業決算認定》

問 ジェネリック医薬品の使用率は。

答 令和元年度は74.8%であり、今後も利用促進を図っていきます。



《国民健康保険直営診療所決算認定》

問 当診療所における1日当たりの平均患者数は。

答 平成29年度は43.7人、平成30年度は41.6人、令和元年度は40人と減少傾向です。

《後期高齢者医療決算認定》

問 短期被保険者証の交付状況は。

答 滞納者に対し、早い時期から電話催告・訪問相談等きめ細やかな対応により、平成27年度以降交付者はいません。

《介護保険事業決算認定》

問 第1号被保険者数と要介護及び要支援認定者数の増加割合の差についての考えは。

答 初めて要介護認定を受ける方の年齢が上がっており、介護予防事業への取組によるものと考えられています。

《河野博士育英事業決算認定》

問 河野博士育英基金の財源は。

答 ふるさと納税の教育に関するものへの使用目的の指定のあるものほか、使用目的指定のないもの及び市民からの寄付について優先的に基金に積み立てています。



産業建設常任委員会

5 議案 認定等
1 請願 採択

委員長 中條恵子
副委員長 金子正則
委員 正行肇 徳藏英子
栗原 小坂本 関口孝夫
松本 小松本 関田勝義
栗原 小松本 関田中良夫

《水道事業会計利益の処分及び決算認定》

問 石綿セメント管の残存延長及び残存率は。

答 令和元年度末の残存延長は64.7km、残存率は27.7%です。

《下水道事業会計利益の処分及び決算認定》

問 全体の加入件数は増えているが、使用料は減少している点をどう分析しているか。

答 一般世帯の加入は増えていて、特に企業における使用水量の減少に伴い、使用料が減少しています。



《農業集落排水事業決算認定》

問 大越処理区の新規加入戸数と総加入戸数は。

答 令和元年度は4戸の新規加入があり、総加入戸数は437戸です。

《加須都市計画事業野中土地区画整理事業決算認定》

問 区域内の水道管布設工事の状況と整備率は。

答 口径100mm以下が180m、口径100mmを超えるものが67mであり、整備率は58.8%です。

《加須市鴻茅白山・芋茅白山地区の開発促進に関する請願》

委員の意見 総合振興計画基本構想に基づき、早期に当該地域の一体的な整備、開発を促進していただくことを要望し、本請願は採択すべきです。

決算特別委員会

1 議案 認定

委員長 小勝裕真
副委員長 中條恵子
委員 吉田健一 由恵美子
佐伯 池田裕美子
川島 竹内政雄
金子正則

《一般会計決算認定》

問 空家等解消対策事業に関し、空家バンクの相談件数は。

答 令和元年度は19件です。

問 妊娠・出産包括支援事業に関し、令和元年度からの新規事業である産後ケアに対する評価は。

答 核家族化が進む中、産後に支援が受けられない方が増えてきていることから、今後とも周知を図りながら進めていきます。

問 5Rの推進事業に関し、小型家電の回収ボックスを設置した効果は。

答 設置前と比較すると、小型家電の回収量は増えています。



道の駅きたかわべ物産販売施設管理運営事業

問 道の駅きたかわべ物産販売施設管理運営事業に関し、販売実績が大幅に増額となった理由は。

答 令和元年度から指定管理者が変更となり、新たに三県境ショップやパン屋など、より利用者に好まれる売店を設置したことにより増えています。



問 橋りよう維持改良事業に関し、橋りようの地域別点検数は。

答 加須地域42橋、騎西地域12橋、北川辺地域11橋、大利根地域8橋の合計73橋の点検を実施しました。

〔現地調査実施箇所〕

・幹線道路新設改良事業
(市道277号線道路改良工事(戸室地内))

・橋りよう維持改良事業
(会の川橋ほか1橋修繕工事(北篠崎地内))

・幹線用排水路改修事業
(農地耕作条件改善事業(北川辺地区) 子之新排水路改修工事(駒場栄地内))



市道277号線

子之新排水路



令和2年第3回定例会 議案等の審議結果

●全議員が賛成した議案

議案番号	議案名等
77	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度加須市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号））
78	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度加須市一般会計補正予算（第6号））
79	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計補正予算（第1号））
80	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度加須市水道事業会計補正予算（第1号））
82	令和2年度加須市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
83	加須市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
84	加須市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
86	加須市放課後児童健全育成室条例の一部を改正する条例
87	加須市老人福祉センター条例の一部を改正する条例
88	加須市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
89	加須市高齢者、障害者等の移動等の円滑化を促進するための基準に関する条例の一部を改正する条例
90	財産の取得について（学校ICT教育活用事業に係る学校用端末機器一式）
91	市道路線の認定について（開発行為に伴うもの）※市道大1382号線ほか2路線
92	市道路線の廃止について（開発行為に伴うもの）※市道大1093号線ほか5路線
93	市道路線の廃止について（道路利用状況によるもの）※市道大3143号線

●賛否が分かれた議案（欠席を含む）

○…賛成、●…反対、欠…欠席 ※会派別議席番号順

議案番号等	議案名等	審議結果	創政会		新政会				令和会		公明党		日本共産党		改革フォーラム															
			小林利一	竹内政雄	新井好一	小坂裕	松本正行	田中良夫	吉田健一	山下雄希	金子正則	齋藤理史	小勝裕真	柿沼秀雄	栗原肇	中島正和	原田悟	関口孝夫	川島一省	中條恵子	大内清心	森本寿子	池田年美	佐伯由恵	及川和子	松本英子	小坂徳蔵	池田裕美子	野中芳子	鎌田勝義
76	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度加須市一般会計補正予算（第5号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
81	令和2年度加須市一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	加須市水と緑と文化のまちづくり基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	令和元年度加須市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
95	令和元年度加須市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
96	令和元年度加須市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
97	令和元年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
98	令和元年度加須市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号等	議案名等	審議結果	創政会					新政会					令和会			公明党			日本共産党			改革フォーラム									
			小林利一	竹内政雄	新井好一	小坂裕	松本正行	田中良夫	吉田健一	山下雄希	金子正則	齋藤理史	小勝裕真	柿沼秀雄	栗原肇	中島正和	原田悟	関口孝夫	川島一省	中條恵子	大内清心	森本寿子	池田年美	佐伯由恵	及川和子	松本英子	小坂徳蔵	池田裕美子	野中芳子	鎌田勝義	
市長提出議案	99	令和元年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	
	100	令和元年度加須市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○
	101	令和元年度加須都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○
	102	令和元年度加須都市計画事業栗橋駅西(大根地区)土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○
	103	令和元年度河野博士育英事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	104	令和元年度加須市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○
	105	令和元年度加須市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○
議員提出議案	3	加須市議会基本条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案	5	埼玉県加須市と群馬県板倉町を結ぶ利根川新橋の整備促進及び架橋に係る幹線道路の整備促進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	2	加須市鴻荳白山・芋荳白山地区の開発促進に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は表決に加わらないため「/」と表示しています。 ※審議結果の会派名は、一部略称で掲載しています。

議案に対する討論

採決に先立ち、議案に対する討論が行われました。討論の一部を掲載いたします。

令和元年度一般会計決算認定

反対 実質収支比率が高く、適切な支出額を算出する努力が必要であること、自治協力団体の補助金の使途を明確にすることや自治会長の女性の割合が低いこと、済生会加須病院駐車場予定地の造成工事に問題があったことから、本案に反対するものです。

賛成 収支の均衡、債務残高の圧縮、将来への備えが守られ、財政の健全性が保たれており評価できます。また、低所得者、子育て世代向けプレミアム付商品券事業や、高齢者のインフルエンザ予防接種費用を助成し、経済的負担の軽減を図っている

ます。今後、体育館等へのエアコン設置の検討を要望し、本案に賛成するものです。

反対 国保税を増税し、一般会計繰入金を減額したこと、介護保険料を引上げる一方、多額の基金を保有しているため、還元すべきであること、不十分な震災対策、市民第一の市政運営の欠如、費用対効果を誤った住民票コンビニ交付事業、同和事業を継続していることから、本案に反対するものです。

賛成 済生会病院誘致事業では、造成工事など基盤整備を完了し、現在、建物本体の建設工事に着工している段階であり、取組みの成果が現れています。また、全幼稚園、小・中学校普通教室、特別教室へのエアコンの配備が完了するなど、市民のニーズを捉えた事業を促進し、未来に向け、確実に歩みを進めていると評価できることから、本案に賛成するものです。

ここが聞きたい!

市政に対する一般質問

議員は、定例会において市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では、17人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に11～15ページへ掲載しました。なお、詳細は会議録やホームページでもご覧いただくことができます。

佐伯由恵議員(日本共産党)
○コロナ禍における学校教育について

○水害対策について
○介護保険第8期事業計画の策定について

池田年美議員(公明党)

○新型コロナウイルスによる内定取り消しを受けた人、職を失った人の当面の就労を支援するための会計年度任用職員採用について

○り災証明書のコンビニ交付について

○「行動履歴記録」と「健康観察票」について

竹内政雄議員(創政会)

○コロナ禍における学校教育の現状と諸課題について

森本寿子議員(公明党)

○防災・減災対策の強化について

○「新しい生活様式」に向けた市民生活の向上について

大内清心議員(公明党)
○子どもの命を守る予防接種について

○一人も取り残さない教育の実現に果たすICTの役割について

川島一省議員(令和会)

○がんの治療が終了した方のフォローアップについて
○夜盲、視野狭窄(まぶさ)で困っている方を助ける暗所視支援眼鏡について

原田悟議員(令和会)

○「まちづくり」の安全に対する環境整備について

及川和子議員(日本共産党)

○誰ひとり取り残さない災害対策について
○高齢者相談センターの運営について

小林利一議員(創政会)

○野中土地区画整理事業の進捗状況等について
○北下新井中央の五差路交差点の交通渋滞解消について(市道123号線)

○市道128号線の未整備について
○合併による効果について

松本英子議員(日本共産党)

○犠牲者ゼロの災害対策(大利根地域)について
○農業創生センターの施設整備について
○幹線排水路整備(大利根地域)について

中條恵子議員(公明党)

○防災対策について
○地域未来構想20 オープンラボについて
○市民が期待する市政について

池田裕美子議員(改革フォーラム)

○長期休校後の対応について
○今年度・来年度の税収について

野中芳子議員(改革フォーラム)

○社会福祉法人(保育園)の監査と虐待について

○プラスチック類、ゴム製品の処理について

小坂徳蔵議員(日本共産党)

○PCR検査拡充による新型コロナウイルス感染抑制について

○台風に加え、災害時に誰一人取り残さない防災対策について

○コロナ禍で子どもの安全を保障する少人数学級について

○個人情報保護と貸館業務について

齋藤理史議員(新政会)

○市内の保育園がマスクミに取り上げられた件について

新井好一議員(創政会)

○台風第19号の検証結果を受けて

小勝裕真議員(新政会)

○加須市の魅力・情報の発信について
○自主防災組織について

コロナ禍 子どもたちに「手厚い教育」と「柔軟な教育」を

佐伯 由恵 議員

佐伯 新型コロナウイルスは、子どもたちの学習に遅れと格差、不安とストレスをもたらし、計り知れない影響を与えています。国立成育医療研究センターのアンケートでは、子ども全体の72%にストレス反応があると報告されています。子どもたちを温かく受け止め、心のケアを行い、一人一人に丁寧に教える「手厚い教育」と、学習指導要領に沿って膨大な内容を詰め込むのではなく、学習内容を精選した「柔軟な教育」(文科省「学習指導要領の弾力化」)が必要であると思います。考えをお伺いします。

教育長 子どもたちの心身の健康に注意を払いながら、学校での教育活動に全力で取り組んでまいります。様々な手立てを講じ、子どもや保護者の悩みに寄り添い、子どもたちの心が和やかな中、必要な学びを充実させていくことで、未来を担う人材である子どもたちを育ててまいります。

り災証明書のコンビニ交付の考えは

池田 年美 議員

池田 大規模災害が発生した場合、被災した方々は市役所の窓口に行くことが困難になってしまふことから、オンラインでのり災証明書の申請や仮設住宅への入居申請など、被災者支援の諸手続きができるようになれば、一刻も早い生活再建の一助となると思っています。災害時に手軽で簡単なオンラインによるり災証明書の申請と、コンビニでの交付の導入についての考えをお伺いします。

環境安全部長 証明書等のコンビニ交付は、地方公共団体情報システム機構が提供する交付サービスで、り災証明書は、交付できるサービスの対象でないことや、り災証明書の交付に当たっては、申請時に被災状況を聞き取った後、現地を確認することが必要であるなどのことから、コンビニ交付対象の証明書にはそぐわないものと考え、従来どおり、窓口や郵送で対応してまいります。

教育の現状と今後の方針は

竹内 政雄 議員

竹内 令和元年度全国学力・学習状況調査の平均正答率の合計を平成30年度と比較すると成績は上がっており、学力向上への取組の成果が徐々に表れています。今後も児童・生徒の学力向上への取組に大いに期待したいと思えます。教育の現状認識と今後の教育方針についてお伺いします。

教育長 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休校は、学校現場に大きな混乱を引き起こしました。しかし、それ以上に感染が疑われた人への心無い言動、医療従事者やその家族に対する偏見など、人の心の弱さが露呈されたことがショックでした。呈されたことがショックでした。点数も大切ですが、互いに支え合う心を育てたいと感じました。今後も「生きる力」を身につけ、自らの人生を切り拓いていける子どもたちを育成する教育を推進してまいります。

防災・減災対策の強化について

森本 寿子 議員

森本 自主防災組織における緊急時の情報伝達ツールとして、SMS一斉送信システムを活用できるよう推進していただきたいと思えます。考えをお伺いします。

環境安全部長 このシステムは、事業者との契約作業や有料のサービスであることから、現時点で導入している自治協力団体はありません。市では、防災無線や防災ラジオ、SNS等で適時的確な情報発信に努めてまいります。

森本 視覚からの情報が避難行動へのきつかけとなると考えますが、河川への防災ライブカメラ設置の考えをお伺いします。

建設部長 国土交通省では今年度、簡易型河川監視カメラを約1600箇所増設の予定であり、利根川上流河川事務所管内にも、監視が必要な箇所を設置を検討していると同っております。これらを活用し、災害情報を収集してまいります。

教育へのICT活用と
特別な支援が必要な子ど
もへの支援の考えは

大内 清心議員

大内 教育へのICT活用に向け、児童生徒の情報活用能力向上への取組と、全教員が知識や技術を習得するための研修等のスケジュールをお伺いします。

学校教育部長 現在作成中の加須市学校教育情報化推進計画に情報活用能力を育成するための具体例を掲載し、指導に生かせるよう努めてまいります。また、年内に各校のICT教育推進役の教員を対象に、整備予定の端末や学習支援ソフトの活用研修会を実施します。その教員を中心に校内研修を行い、全教員が基礎的な知識、技術を習得するための取組を推進してまいります。

大内 特別な支援が必要な子どもへのサポートについての考えをお伺いします。

教育長 教育的ニーズに応じた教育の一助として、ICTのメリットを活用した教育方法を研究してまいりますと考えております。

暗所視支援眼鏡の購入費
の支援を

川島 一省議員

川島 目の病である夜盲や視野狭窄で困っている網膜色素変性症の方の人数と、視覚障がいを補う暗所視支援眼鏡の購入費約40万円に対する支援についてお伺いします。

福祉部長 加須保健所によると、網膜色素変性症により指定難病として医療費助成の対象となっている方は、令和2年3月31日現在で20人とのことでした。

また、障がい者、難病患者の日常生活を支援するため、日常生活用具給付等事業があります。日常生活用具の対象品目などについて、厚生労働省の告示及び日常生活用具参考例を基に要綱を定めております。暗所視支援眼鏡をこの事業の対象とすることについては、現在、市の窓口にご相談がない状況であることから、視覚に障がいのある方の生活状況や、その状況に対する本製品の有効性、必要性、ニーズ等を踏まえ検討してまいります。

学校へ防犯カメラ設置の
考えは

原田 悟議員

原田 加須市総合振興計画では、学校の安全に関する環境整備の方針の中に、不測の事態に子どもたちが安全な場所へ避難できるように防犯訓練を実施するとあります。これに併せて初期対応、記録ができる予防として、防犯カメラの設置が必要であると思います。次期加須市総合振興計画等を含め、学校に防犯カメラを設置する、または計画として盛り込む予定があるのかお伺いします。

学校教育部長 学校の安全対策につきましては、防犯避難訓練、学校応援団等による見守り、青色回転灯パトロールを実施しており、子どもの安全は、学校、地域で守るという基本的な考えに立ち、取り組んでおります。次期加須市総合振興計画等に防犯カメラの設置を取り上げることについては、本市の地域性や地域と学校との連携によって子どもを守るということを総合的に考え、今後研究してまいります。

防災ラジオを聞き取りやす
くするために

及川 和子議員

及川 防災ラジオが届いた世帯から受信状態が良くない、全く聞こえないとの声が届いています。このまま聞こえない状態にしておくわけにはできません。原因について、アンテナの調整で聞こえるようになるのか、本格的な外部アンテナの設置が必要なのか、聞こえるようになるまで職員が出向いて対応すべきと思いますが考えをお伺いします。

環境安全部長 9月7日現在のラジオ配布世帯数は7952世帯です。うち137世帯から防災無線が聞こえない、雑音等で聞きづらいとの問い合わせが、18世帯からラジオも聞こえないとの問い合わせがあり、職員が電話や訪問により、ラジオの設置場所等の確認、調整等を行っているところですが、また、電波出力増強の許可申請をするため、電波調査結果がまとまり次第、関東総合通信局との協議を予定しております。

野中土地区画整理事業の 進捗状況は

小林 利一 議員

小林 野中土地区画整理事業は、旧大利根町時代から事業に着手し、40年以上が経過したにもかかわらず、区域内の未整理地域が多いため、多く見受けられます。関係権利者や地域住民の方々より事業の早期完成が求められています。事業の進捗状況についてお伺いします。

大利根総合支所長 当事業の令和元年度末の事業進捗率は事業費ベースで約54・8%、また、令和2年8月末現在の仮換地同意率は地権者ベースで約99・5%、建物等移転補償率は約73・6%、道路整備率は約49・1%、整地工事の整備率は約50・3%、雨水管の整備率は約47・5%、保留地の公売率は面積ベースで約75・8%であり、現事業計画の完成は令和9年度の予定となっております。今後も地権者の同意が得られるよう努めるとともに、財源確保を図りながら、道路や雨水工事等を実施し、事業を進めてまいります。

稲荷木落排水路と十王堀 排水路の整備状況は

松本 英子 議員

松本 住民の安全な暮らしと水稲農業を守るためにも排水路の整備は待たない課題です。稲荷木落排水路を早期に整備するため、新年度の予算を確実に確保するとともに、十王堀排水路は未整備地域であることから、早期に整備が始まるよう尽力していただきたいと思えますが考えをお伺いします。

市長 稲荷木落排水路につきましては、適切な負担金の予算措置を行い、令和4年度までに沼尻落排水路との合流点までを予定どおり完成できるように県に働きかけてまいります。また、十王堀排水路及び稲荷木落排水路の上流部につきましては、国が調査を進めております中川上流地区かんがい排水事業により、国営事業として整備が図れるよう、関係市と連携し、国・県、関係機関に対して強く要望してまいりたいと考えております。

地域未来構想20 オープン ラボ活用への考えは

中條 恵子 議員

中條 ウイズコロナとの考え方もあり、新しい生活様式の下、将来を見据えたまちづくりへの大きな変革の時と捉えることもできます。生活を脅かす新型コロナウイルスを克服するために、何が必要で、どうすればそれが実行できるのか、ピンチをチャンスにできないか、様々な考えがあると思いますが、地域未来構想20オープンラボの活用についての考えをお伺いします。

市長 地域未来構想20は、新型コロナウイルスが拡大している中、当面の対策と将来を見据えた対応の両方を視野に入れて示された20の政策例です。本市としましては、まずは感染拡大の防止をはじめとする当面の対策に重点をおき、ある程度落ち着きましたら、新しい生活様式等に基づいた新たな地域づくりを検討してまいります。その時点において、オープンラボの制度が続いていれば、活用させていただきたいと考えております。

長期休校後の教育の重点は

池田 裕美子 議員

池田 突然に、しかも3カ月も外出を制限されるといふ試験を経験した小・中学生は、生き抜くためには何を学ぶべきなのか、大人よりも真剣に考えているはずで、子ども自身が学ぶテーマを見出し、現代的諸課題にどう対応したらよいかを考える指導をお願いいたします。今こそ子どもたちが解決策を編み出せるような指導を心掛け、学習意欲、公共心、探究心を育てていただきたいと思えますが、教育委員会としての所見をお伺いします。

教育長 現代的な諸課題には、生命、人権、国際理解、食糧、環境などがあり、これらの課題に対応するために必要な力は、多角的に捉え、考え、行動できる、生きる力の醸成です。教科指導だけでなく、全教育活動を通じて、自らの人生を切り拓いていける教育を推進していくことが大切であると考えております。

新聞・テレビ報道での対応 と安全な保育のために

野中 芳子 議員

野中 昨年に続き再度、市内私立保育園において、今年7月、嫌がる園児を押さえつけ「両生類のハイハイ」をさせている様子が新聞・テレビで報道されました。市の対応と今後の適切な保育を遂行するための対応について伺います。

福祉部長 報道前に新聞記者から取材を受けたことに伴い、理事長及び園長への聞き取りと、動画が撮影された場所等を視察、報道後には当該保育園の保護者への説明会に市担当職員が同席して、園の説明や保護者の状況を確認するとともに、児童福祉法に基づく随時指導監査の実施を通知し、保育士全員へ聞き取りを行いました。

市長 全ての指導事項が改善されるまで、関係部局が連携の上、監査・指導を継続し、園児の健全育成を図る適切な保育所運営と保護者の信頼回復に努めるよう、今後も当該保育園に対して求めてまいります。

PCR検査拡充の考えは

小坂 徳蔵 議員

小坂 新型コロナウイルスの特徴は、感染者の多くが軽症で無症状の人も多く、感染を広めてしまうことです。高齢者、有病者、障がい者等の感染は命の危険に直結します。医療、介護、福祉、保育、学校などの施設で発生した場合、濃厚接触者以外の関係者に広範囲にPCR検査を実施し、感染を抑える対策が重要であると思えますが考えをお伺いします。

市長 早期発見につながるPCR検査の拡充は重要であると認識しております。県では、7月から医療機関、高齢者施設、保育園、幼稚園、小・中学校等で集団感染の恐れがある場合、濃厚接触者以外に対しても検査を実施することとしており、市では、この検査の対象外となる園児、児童・生徒に対しても、必要に応じて市の負担で検査を行うこととしました。引き続き国・県の動向を注視しながら感染防止に向けた取組を、全力で進めてまいります。

私立保育園の指導監査と 保護者会の立ち上げにつ いて

齋藤 理史 議員

齋藤 新聞に「泣く園児床に押し付け」という見出しで、本市の認可保育園の記事が掲載されるなど、マスコミに取り上げられました。この件について、当該保育園主催の説明会に市担当職員が同席し、後日、随時指導監査として保育士に聞き取りをしたとのことですが、今後の対応及び保護者会の立ち上げへの市のサポートについて伺います。

福祉部長 随時指導監査の調査結果を精査した上で、改善が必要なのは、文書による指導を行い、当該理事長等へ改善報告を求めるとともに、改善に取り組むべきものも指導し、監査結果を通知してまいります。また、保護者会については、保護者が集まり園の協力を得て行事の開催や、意見交換を行う場としての自主的な組織と認識しておりますので、現在、民間保育所保護者会に対する市のサポートは行っておりません。

逃げ遅れゼロを目指す 取組は

新井 好一 議員

新井 台風第19号の検証結果を受け、逃げ遅れをゼロにするためにはどうするのかということが、最大の課題であると思います。私も参加した出前講座では、要援護者制度の実態についての周知等はあるのですが、実効性のある支援プランについては、自治会、民生委員任せということではないかと思いますが、どのように捉えているのかお伺いします。

北川辺総合支所長 避難情報の発令基準を見直し、2日前から1日前の明るいうちに「避難準備、高齢者等避難開始」を発令することとなりました。区長会や民生委員・児童委員協議会等において、自治会の加入や援助者登録の有無に関わらず、早期避難の声掛けや積極的な避難誘導を行っていたり、災害時要援護者名簿の事前確認や所在を記したマップ作成なども併せてお願いしております。

本市の魅力・情報の発信 についての考えは

小勝 裕真 議員

小勝 少子化により、人口が減少する時代を迎えました。本市では合計特殊出生率が低く、自然増減は減少となっている一方、社会増減では増加に転じていると伺っています。生活するなら加須市、子育てするなら加須市と認めている方が多い証ではないでしょうか。本市の魅力・情報の発信についての考えをお伺いします。

市長 まずは本市を知っていただくことが大きな課題であります。例えば、花咲徳栄高校の甲子園での優勝をきっかけに、埼玉県に加須市があることを知っていただくことで、人の交流が生まれ、住んでみたいということにつながります。また、東北道と圏央道が近くにあり、企業の立地には交通の利便性が魅力です。名所や旧跡だけの魅力に限らず、全方位的な視点で、本市の魅力・情報の発信に、今後も努力を重ねてまいります。

加須市議会基本条例制定後 初となる検証を実施

議会運営委員会では、加須市議会基本条例第32条第2項の規定に基づき、同条例の目的が達成されているかどうかを検証しました。

検証結果 第32条第1項の文言「議会改革特別委員会等」を現状に即して「議会運営委員会等」に改めることとしました。また、他の条文については、適正であるとの評価をしました。

検証内容、理由等、詳細については、市議会のホームページをご覧ください。



加須市議会タブレット端末 活用検討委員会を設置し検討

加須市議会におけるタブレット端末の活用について検討するため、加須市議会タブレット端末活用検討委員会を4月に設置し、10月までに8回の会議と行政視察を実施しました。

平常時だけでなく災害時や緊急時においても必要に応じてオンライン会議を開催したり、資料のペーパーレス化を推進するなど、タブレット端末の活用について検討しています。

委員長 小坂 裕 **副委員長** 大内清心
委員 原田 悟 佐伯由恵
山下雄希 池田裕美子

意見書を提出

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」を国に提出

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じることが予想されます。新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、地方税財源の確保を求めるため、10月8日付けで国の関係機関に意見書を提出しました。

「埼玉県加須市と群馬県板倉町を結ぶ利根川新橋の整備促進及び架橋に係る幹線道路の整備促進を求める意見書」を県に提出

埼玉大橋は、年々交通量も増加し、慢性的な交通渋滞が発生している状況です。令和元年10月の台風第19号では、避難指示を発令し広域避難を実施したところ、避難する車両が埼玉大橋に集中し、大渋滞が起こる事態となりました。緊急輸送路である国道125号と国道354号を南北に結ぶ広域的な交通ネットワークの構築に大きな役割を果たし、地域防災力の強化と大規模自然災害時において首都圏のバックアップ機能を発揮することにも繋がるものと考えことから、加須市と板倉町を結ぶ利根川新橋の早期建設及びその架橋に係る幹線道路の整備促進について、早期に取り組んでいただくよう、11月13日(金)に、埼玉県知事と埼玉県議長へ意見書を提出しました。



加須市議会本会議、委員会等の傍聴者の皆様へ

令和2年第4回定例会は、12月10日まで行われています。

本定例会を傍聴する場合には、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するとともに感染を予防するため、次のとおりお願いいたします。

傍聴する場合には、次のとおりお願いします

- ①入口にある消毒液で手を消毒してください。
- ②マスクを着用してください。
- ③傍聴席の座席は、1つおきに離れて座ってください。

次の場合には、傍聴できません

- ①息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
 - ②重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
 - ③上記以外の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合
 - ④その他、ご自身の症状に不安がある場合
- ※インターネットで本会議のライブ中継・録画中継を実施していますので、ご覧ください。

編集後記

令和2年第3回定例会も約1カ月の会期中、新型コロナウイルス感染症の対応を行いつつ無事閉会しました。「暑さ寒さも彼岸まで」のことわざどおり、秋の気配が感じられる季節になりました。例年であれば、四季を通して行われる各種イベントが中止となり、絆を深める機会もなくなり、寂しい一年となりそうです。

議会最終日は十五夜、翌日は中秋の名月を見て、久しぶりに爽快な気分を味わいました。一人ひとりが自然の移り変わりに感じることで、気持ちにゆとりができ、生活様式に変化がみられるかもしれません。

加須市議会においても、新しい議会運営を進めて行きたいと思えます。

（編集委員 吉田健一）

川島一省議員ご逝去



川島一省議員が、令和2年10月9日ご逝去されました。享年65歳。

川島一省議員は、加須市職員として奉職された後、平成31年4月の市議会議員

選挙に初当選いたしました。一般質問では、自らの経験を踏まえて質問するなど、特に健康づくり、福祉分野について、精力的に調査・研究を続けておりました。

故人の生前のご功績をしのび、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

本会議をインターネットで中継

ライブ中継と録画中継でご覧になれます。ぜひ、ご覧ください。



加須市議会 中継 検索



市議会だより編集委員会

委員長 小林利一 副委員長 金子正則
委員 池田裕美子 佐伯由恵 原田 悟 吉田健一 池田年美 山下雄希

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

